



体験設計認証(CXD) のご紹介

体験設計認証（CXD）とは

「製品・システム・サービス等に関わる**全ての人**⁽¹⁾に、**優れた体験**⁽²⁾を提供する**企業の連携事業成果**を**認証**⁽³⁾し、広く社会に知らしめることを通じて、体験設計支援コンソーシアム（CXDS）会員をはじめとする多くの企業の**体験設計を支援、推進**する。
このことを通じて、人々の幸福と社会の発展、創生に寄与します」

(1)（直接、間接）ユーザーだけでなく、提供者（個人、企業/団体およびその構成員）や社会（地域、コミュニティおよびその構成員）も対象とします

(2) 体験設計（Experience Design：意図的に企てられた未来の事象連携を創造する行為）を通じて得られる事前期待、実利用体験、累積的な体験（経験）のことです

(3) 開発中の製品・システム・サービス等も対象とします

体験設計認証（CXD）マーク



Certified Experience Design

体験設計認証（CXD）の申請対象

- 認証の対象は**国内向け**の製品・システム・サービス等、プロセス/仕組み等、プラットフォーム、ツール等、各カテゴリーに該当するものとしします
- **発売、公開前**の製品・システム・サービス等**も対象**としします
(公開可能な範囲で申請ください)
- **自薦および推薦**
推薦の場合は、事前に当事者の了解をいただいでください
- 申請、推薦に必要な書式および認証に関する募集要領等は下記CXDSのホームページからダウンロードしてください

体験設計認証（CXD）のカテゴリー

A) 製品・システム・サービス部門

提供される製品・システム・サービス等

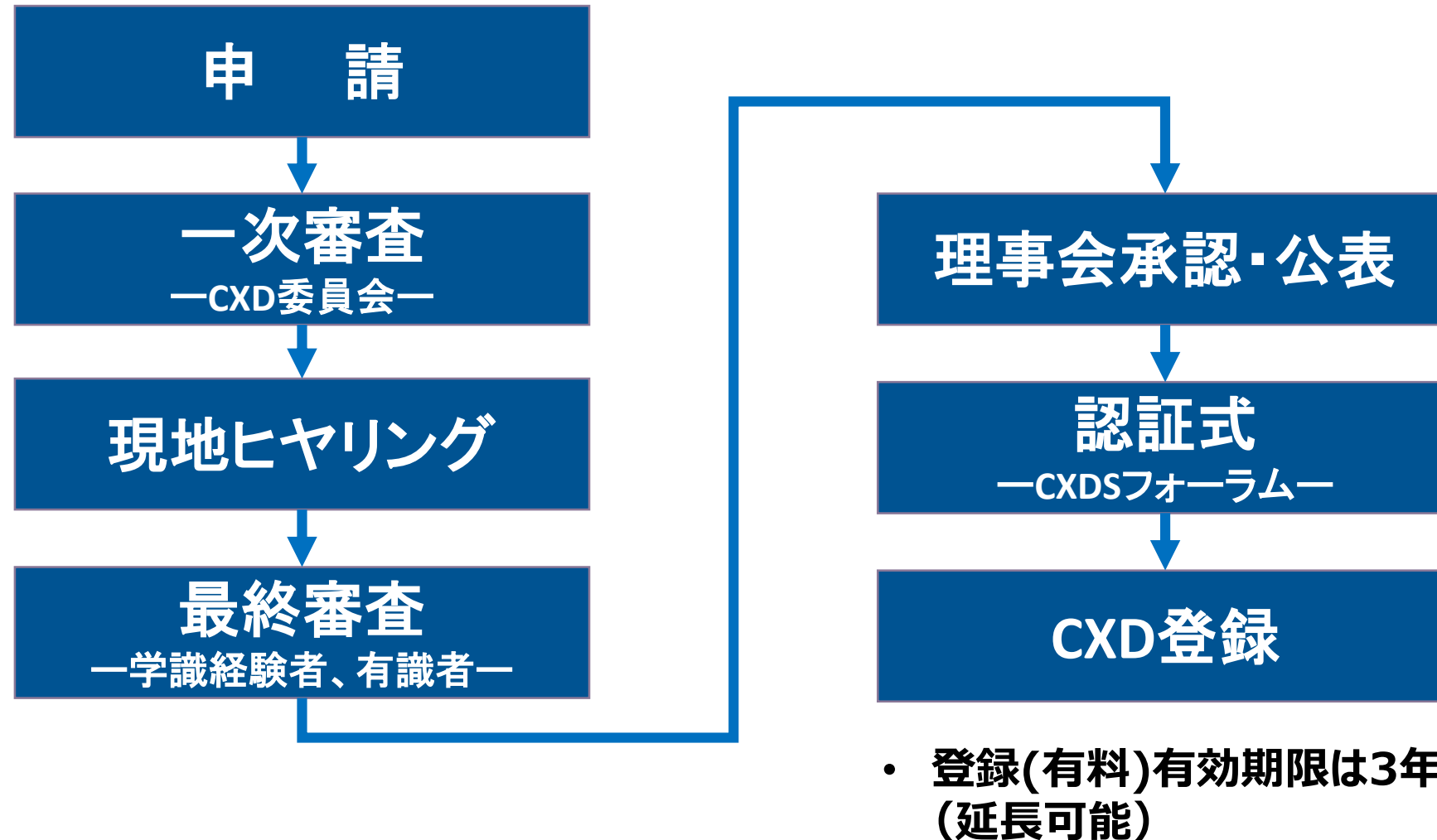
B) プロセス・仕組み部門

体験設計プロセス、手法、仕組み等

C) ツール部門

体験設計を支援する各種ツール/利用部品/展開プラットフォーム等

体験設計（CXD）認証の流れ



「求められる9つのデザインの思考」からの審査

	考え方	審査ポイント
D1	戦略を考える	これまでにない新しい価値、領域、市場を意識しているか
D2	条件を考える	人、モノ、金だけでなく、仲間、情報、ひらめきを大切にしているか
D3	人間中心で考える	市場や技術だけでなく、効果、効率、満足の観点から人を中心とした取り組みか
D4	社会で考える	利用者だけでなく、社会性のある価値も考えているか
D5	感性で考える	利用者の思いや感覚など感性面での志向も考えているか
D6	観方を考える	観察、共感、洞察で俯瞰、経験、潜在の観方を変えて取り組んでいるか
D7	文脈で考える	利用状況や進歩の経緯など、文脈で捉えているか
D8	進め方を考える	仮説推論による発想、立案、検証するアプローチがあるか
D9	みんなで考える	多様な業種と協創し、さまざまな人達との共創をしているか

「体験設計の9つの視点」からの審査

	視 点	設計対象	審査ポイント
V1	経験する対象の領域	体験ドメイン	ユーザーだけでなく、顧客/社会/従業員などの体験も考慮しているか
V2	経験する意味の探索	体験テーマ	専門家の新たな気づきとユーザーの本質的要求の両面からテーマ創りに取り組んでいるか
V3	経験を革新する規模	体験レベル	タスク、シーン、ジョブの変革の規模を意識した体験作りになっているか
V4	経験を評価する世代	体験ロードマップ	時代の流れと世代に対する体験価値を意識した設計になっているか
V5	経験を構成する要素	体験モジュール	感覚的、情緒的、認知的、行動的、関係的な経験価値の要素があるか
V6	経験を展開する背景	体験ステージ	何で、どのようにしてだけでなく、いつ、どこで、誰とを想定した新たなうれしい体験を設計しているか
V7	経験を獲得する経緯	体験ジャーニー	時間軸に沿ったユーザーの思考、行動、気持ちをその接点（タッチポイント）を意識した設計になっているか
V8	経験を実現する連携	体験バリューチェーン	体験の実現に関与する人や企業における情報/モノ/金などの流れを意識した設計になっているか
V9	経験の獲得への導入	体験イントロ	未知の製品・システム・サービスに対して、気づき、探索、試用、獲得までの導入シナリオが想定されているか

体験設計認証（CXD）最終審査方法

- 申請内容を、**3つの部門**に分類して審査

※ 審査の過程で、より適切な部門への変更もあります

- 訴求ポイントを中心に、**体験設計を推進、支援するのにふさわしい取り組みや成果であるかを総合的に判断**
- CXD委員会以外に、体験設計領域の**学識経験者、有識者**も参加して審査

体験設計認証（CXD）を取得されると

第1回体験設計認証（2019年）では、10事例を認証しました。
第2回体験設計認証では（2020年）では、5事例が認証されました。

体験設計認証された事例は、
パンフレット化されると共に
CXDSおよび会員が出展する
各種展示会/発表会にて
展示/紹介されます。



一般社団法人 体験設計支援コンソーシアム（CXDS）では、企業により優れた体験設計の事例に対して体験設計認証を行います。

体験設計とは？

ユーザーや顧客、その提供者や雇用者、そして社会の多くの人々を対象に、それらの経験価値を高めるために、人の行為と事業連携の運用を意図的に設計することです。

体験設計認証の意義

製品・システム・サービスに関わる全ての人に、優れた体験設計を提供する企業の連携事業成果を認証し広く社会に知らしめることを通じて、体験設計支援コンソーシアム会員を初めとする多くの企業の体験設計を支援、推進します。このことを通じて、人々の幸福と企業の発展、創生に寄与します。

体験設計認証登録メリット

- CXDS 活動として、優れた体験設計事例として広報
- CXDS フォーラム、セミナー等での紹介
- CXDS のWEB ページでの公開と企業ホームページへのリンク
- 展示会での展示、出版、広報印刷物への掲載を予定
- その他今後の事業展開に伴い、登録効果を高めています。

体験設計認証（CXD）マーク

製品・システム・サービス部門	体験設計ツール部門
[iLUTon] iLUTon は PC の情報セキュリティを、近距離電波通信を利用して守るシステムです。管理者によって割り当てられた ID カードと PC の USB に接続されたアンテナと PC アプリにより構成されています。ユーザーの何気ない PC からの離席で自動ログアウトし、着席で自動ログインできます。また、ログイン情報とキーボードマウスの情報から、PC 使用状態のログを取得することで、勤怠管理に役立ちます。 株式会社イーシーディフェンス	[KAIBAR] KAIBAR は IoT やロボットなどのエッジコンピューティングでの AI（人工知能）化を促進するためのシステムです。ホスト側でディープラーニングデータを作成し、クラウド側で AI を活用するシステムです。[KAIBAR] は教育データの作成と学習データの検証を容易にできるアプリケーション GUI となっています。 株式会社ディープインサイト
[Drip Navi] Drip Navi は看護士の輸液作業を効率よく行い、スマートフォンで管理する自然落下輸液管理システムです。投与時間と投与量を感じ覚的なクレンメ操作で精度のある設定を誰でも可能にしました。また、スマートフォンでの導入やナースステーションの一元管理を可能にする IoT システムです。 株式会社トライトック	[金剛黒体] 金剛黒体は、文字の幅が広く、重心が安定しています。柔らかな曲線は、十分な力加減を要しており、また、シンメトリーの美しさが細部を際立たせています。同時に、液晶における表示ニーズにも対応しており、フォントの中心の空間が適切で、最高の相対性、可読性を有する、中性的に洗練された新時代のゴシック体です。 ダイナミックウェア株式会社
[虹色伝言板] 屋外野ざらしが可能な、超高精度で装飾を連結して文字数を増設出来ます。クラウドと連携して、あらゆるメッセージを 7 色で表示できる、屋外用文字表示器です。 データテック/ロージ株式会社	[Storyboard] Storyboard は、組込みシステム向けのユーザーインターフェースを開発するツールです。ユーザーインターフェースをデザインする開発環境 Storyboard Designer とターゲットでの実行環境 Storyboard Engine で構成されています。 Crank Software 社 推薦者：コークエスト株式会社
[みまわり伝書鳩] みまわり伝書鳩 は通信回線（専用インターネット回線や専用無線通信網）、各種測定器（センサー等）と音声送信クーパー（送信機）がセットになった“遠隔監視制御システム”です。センサー端末で取得した各種計測データは専用回線を通じ情報管理サーバーに送信され、データ蓄積されます。 データテック/ロージ株式会社	[HOTMOCK] コンピュータ組込み機器の開発において、ユーザー体験を開発の上流工程で、発注・制作するための電子キットです。回路設計技術やプログラムスキルを必要とせず制作できるうえ、操作ログの取得によるビジュアルな評価を可能にしています。 株式会社ホロクリエイト
[PROFESSIONAL ENGLISH FOR NURSING] 全 5 シリーズからなる看護専門職につく人のための英語教材で、教科書とそれに連動した E-Learning システムがセットとなっています。看護師が病院内で遭遇する場面を設定し、実践的かつ応用性の高い英語力を獲得でき、授業でのロールプレイが自然に行えます。また、多様な文化的背景をもつ患者の医療現場で役立つ表現や、日本の看護・医療を説明する表現を学習することができます。 アラヤ株式会社	[Live Location System] Live Location System (LLS) は低出力通信 LoRa の電波帯を使用し、リアルタイムに人の位置情報をサーバーの送受信することのできるシステムです。「省のインターネット」を実現するため、GPS 技術を用いて人に着けられるカードに搭載した IoT システムです。 株式会社ソーシールエアネットワークス

第1回認証事例紹介パンフレット

2019年度～2020年度 体験設計認証 事例

iLUTon

PCの情報セキュリティを近距離通信で守るシステム。勤怠管理等にも役立つPC使用状態の履歴ログを取得。



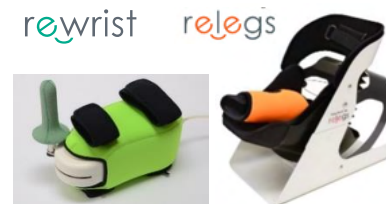
KAIBAR

組込機器AIシステムのためのエンベッテッド・ディープラーニング・フレームワーク



AIREHA

リハビリロボットは苦しいリハビリを、楽しく、さらには嬉しいリハビリ体験に変えた



Drip Navi

自然落下点滴を変え
る看護業務改善
IoTシステム



金剛黒体

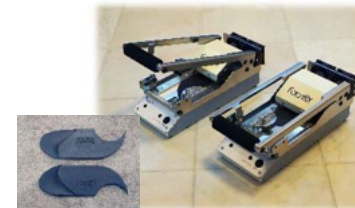
6ウェイト、100言語に対応したデジタルデバイス画面適応新書体シリーズ



心を動かす
世界とつながる
A B C D E F G H a b c
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 !

Footfix

足整療法のコミュニティ形成や、誰でも作れる整形機ならびに貼り方ノウハウを広く提供



虹色伝言板

あらゆるメッセージを7色で表示することができる屋外用文字表示器



Storyboard

組込みシステム向けのユーザーインターフェイスを開発するツール



温調みつばち

ハウス農法IoTシステムはユーザーとの共創を通してこれまでの農業の生活様式を変える経験を提供



みまわり伝書鳩

各種センサ、カメラ等で測定した様々なデータを遠隔監視するためのクラウドシステム



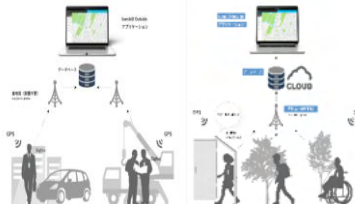
HOTMOCK

体験を試作するエクスペリエンス・ラピッド・プロトタイピング・ツール



bambiD

ID統合位置情報管理システムはB to Bにおけるパートナーとの協創ソリューションプラットフォーム



看護英語教育

eラーニング

英語対応可能な国内看護師を養成するための実践教材。



Live Location System

低出力通信LPWAを使用し、リアルタイム位置情報システム。「者のインターネット」を実現するIoTシステム。



EM Quest VA

振動解析結果の視覚化を活用し、さまざまな用途で多くのユーザーの新たな体験の可能性を拡げた



体験設計認証制度では、優れた体験設計事例を広く知っていただくために推薦制度を設けています。

- 推薦対象 CXDSの会員、非会員を問わない
- 推薦基準 基本的に体験設計認証と同じ
- 推薦方法 認証委員会にて対象事例を選定し、理事会承認
- 推薦事例の取り扱い CXDSフォーラムでの発表と紹介
- 推薦マーク 利用規定にもとづき付与、活用



推 奨

Commended Experience Design

体験設計認証制度では、優れた体験設計事例を広く知っていただくために申請中マークを設けています。

- 付与対象 体験設計認証申請書類提出済み事例
- 付与基準 基本的に体験設計認証と同じ
- 付与方法 認証委員会にて承認
- マークの活用 利用規定にもとづき最終審査までの期間

体験設計認証申請中マーク

